

1 建二次

2022年度

1 級建築施工管理技術検定試験

二次検定問題

解答試案

有限会社ティワイプランニング

問題2	1.	事項1	枠組足場の組立て作業において、上段の組立て中は手摺がないために墜落する危険性が高いので、手すり枠による手すり先行工法を採用した。			
		事項2	床開口部を使った資材の搬出入作業において、転落及び資材の落下防止として、床開口部の周囲には、単管パイプによる手すり及び中棧、幅木を設けた。			
	2.	事項1	山留め支保工の組立て作業において、山留め壁の崩壊防止のため、腹起しは山留め壁との隙間を空けないように、裏込め材を挿入した。			
		事項2	鉄骨の建方作業において、建方中の鉄骨の倒壊防止のため、柱鉄骨に取付けた建入れ直しのワイヤロープを倒壊防止用のワイヤロープと兼用した。			
	3.	事項1	送電線付近での作業において、移動式クレーンのブームとの接触による感電事故防止のため、監視員を配置し、送電線との離隔距離を保つようにした。			
		事項2	地盤面下への資材搬入作業において、移動式クレーンの転倒事故防止のため、吊り荷重の確認及びアウトリガーのはね出し長さを最大にするようにした。			
問題3	1.	作業A1、B1の作業内容	軽量鉄骨壁下地	3.	フリーフロート	0日
		作業A6、B6の作業内容	フリーアクセスフロア下地	4.	あ	A5
	2.	総所要日数	25日			い
問題4	1.	1	保護コンクリートの厚さは、コンクリートこて仕上げの場合は80mm以上とする。			
		2	溶接金網の敷き込み重ね幅は、1節半以上、かつ、150mm以上とする。			
	2.	1	板が損傷ないように留意して仮敷後、雄ざねの付け根から隠し釘留めとする。			
		2	幅木下及び敷居の板そばには、板の伸縮を考慮して、隙間を設ける。			
	3.	1	下塗りは、だれ、塗残しのないように留意し、均一に塗り付けとする。			
		2	作業場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上のときは、作業を中止する。			
	4.	1	取付けに用いるアンカーは、亜鉛めっき処理または防錆塗装を行う。			
		2	枠とコンクリートとの隙間には、防水剤入りのモルタルを充填する。			
問題5	1.	2	5.	5		
	2.	3	6.	1		
	3.	1	7.	3		
	4.	3	8.	4		
問題6	1.	①	1	②	4	
	2.	③	3	④	5	
	3.	⑤	3	⑥	2	